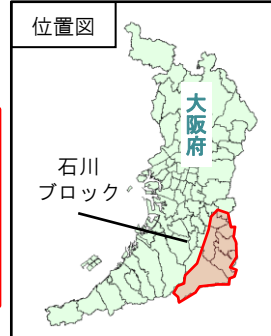


○石川ブロックでは、当面の治水目標に従い、河道拡幅、河床掘削・堤防嵩上げ等または耐水型都市づくり等による洪水対策を実施します。太井川、水越川を除き、大乘川、梅川、佐備川、天見川では、時間雨量50ミリ程度の降雨、石川、飛鳥川、石見川では時間雨量65ミリ程度の降雨、千早川、宇奈田川、加賀田川、原川では時間雨量80ミリ程度の降雨による洪水を対象に整備を行います。



- 凡例
- 河道改修
 - 貯留施設(計画)
 - 貯留施設(整備済)
 - 河川カメラ
 - 水位計
 - 砂防堰堤等
 - 流域界

●被害対象を減少させるための対策

- ・土砂災害特別警戒区域内の既存住宅に対する補助制度
- ・立地適正化計画に基づき水害リスクの低い地域への居住誘導

●被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ①情報伝達、避難計画等に関する事項
 - ・洪水浸水想定区域の指定拡大【府】
 - ・想定最大規模の雨水出水に係る浸水想定区域図等の作成と周知【府】
 - ・ホットラインの運用(洪水・土砂)【府、市町村】
 - ・避難情報発令の対象区域、判断基準等の確認(広域タイムライン)(洪水)【府・市町村・民間】
 - ・避難情報発令の対象区域、判断基準等の確認(市域・町域タイムライン)(洪水・土砂)【市町村】
 - ・避難情報発令の対象区域、判断基準等の確認(コミュニティタイムライン)(洪水・土砂)【市町村】
 - ・水害危険性の周知促進【府】
 - ・ICTを活用した洪水情報・土砂災害情報の提供【府・気象台】
 - ・隣接市町村における避難場所の設定(広域避難体制の構築)等【府・市町村】
 - ・要配慮者利用施設における避難確保計画の作成及び避難訓練の実施(洪水・土砂災害)【府、市町村】
 - ・システムを活用した情報共有【府、市町村】
 - ・水防関係者間での連携、協力に関する検討【市町村】
 - ・市町村庁舎や災害拠点病院等の施設関係者への情報伝達の充実【府・市町村】
 - ・市町村庁舎や災害拠点病院等の機能確保のための対策の充実(耐水化、非常用発電機等の整備)【市町村】
 - ・排水施設、排水資機材の運用方法の改善及び排水施設の整備等【府、市町村】
 - ・浸水被害軽減地区の指定【府、市町村】
 - ・樋門・樋管等の施設の確実な運用体制の確保【府・市町村】
 - ・施設管理の高度化の検討【府】
- ②平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項等
 - ・水害ハザードマップの改良、周知、活用(洪水・土砂)【府、市町村】
 - ・浸水実績等の周知【府、市町村】
 - ・災害リスクの現地表示【市町村】
 - ・防災教育の推進【府、市町村】
 - ・地区単位土砂災害ハザードマップの作成促進【府、市町村】
 - ・水防に関する広報の充実(水防団確保に係る取組)【府、市町村】
 - ・水防訓練の充実【府・市町村】

●氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- ・河道拡幅、河道掘削【府】
- ・貯留施設整備【府】
- ・ため池及び農業用施設等の治水活用【府・町・民間】
- ・既存貯留施設の治水活用【府・町】
- ・砂防施設の保全【府】
- ・河道内堆積土砂の撤去
- ・下水道等排水施設の整備【府、羽曳野市、藤井寺市、富田林市】
- ・治山施設・森林の整備及び保全

●グリーンインフラの取組み

- ・上下流の連続性確保に向けた魚道の整備【府】
- ・親水護岸の設置【府】

大和川水系石川ブロック 流域治水プロジェクト【ロードマップ】

～金剛葛城山系の麓の市街地を守る流域治水の推進～

- 石川水系では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、府・市町村が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。

【短期】 住宅密集地での重大災害の発生を未然に防ぐため、河道改修に着手。

【中期】 河道改修の推進。

【中長期】 河川別の目標時間雨量対策の達成とため池の治水活用を完了。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	河道改修・耐水型整備	大阪府			
	洪水調節施設の整備	大阪府			
	河道内の堆積土砂除去	大阪府			
	下水道等排水施設の整備	大阪府、羽曳野市、藤井寺市、富田林市			
	大和川治水計画の更新	国土交通省			
	砂防堰堤の築造	大阪府			
	ため池及び農業用施設等の治水活用	大阪府、市町村、民間			
被害対象を減少させるための対策	土砂災害特別警戒区域内の既存住宅に対する補助制度	大阪府、富田林市、河内長野市、羽曳野市、太子町、河南町、千早赤阪村、柏原市			
	土地利用誘導（立地適正化計画）	大阪府、河内長野市、富田林市、柏原市、羽曳野市、藤井寺市、太子町、河南町、千早赤阪村			
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	①情報伝達、避難計画等に関する事項 ・洪水浸水想定区域の指定拡大 ・雨水出水浸水想定区域の指定 ・市町村、地域タイムラインの策定 ・要配慮者利用施設の避難確保計画作成 等	大阪府、河内長野市、富田林市、柏原市、羽曳野市、藤井寺市、太子町、河南町、千早赤阪村、民間、気象台			
	②平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項等 ・ハザードマップの改良・周知・活用 ・災害リスクの現地表示 等	大阪府、河内長野市、富田林市、柏原市、羽曳野市、藤井寺市、太子町、河南町、千早赤阪村			
グリーンインフラの取組み	河川環境学習	大阪府外			

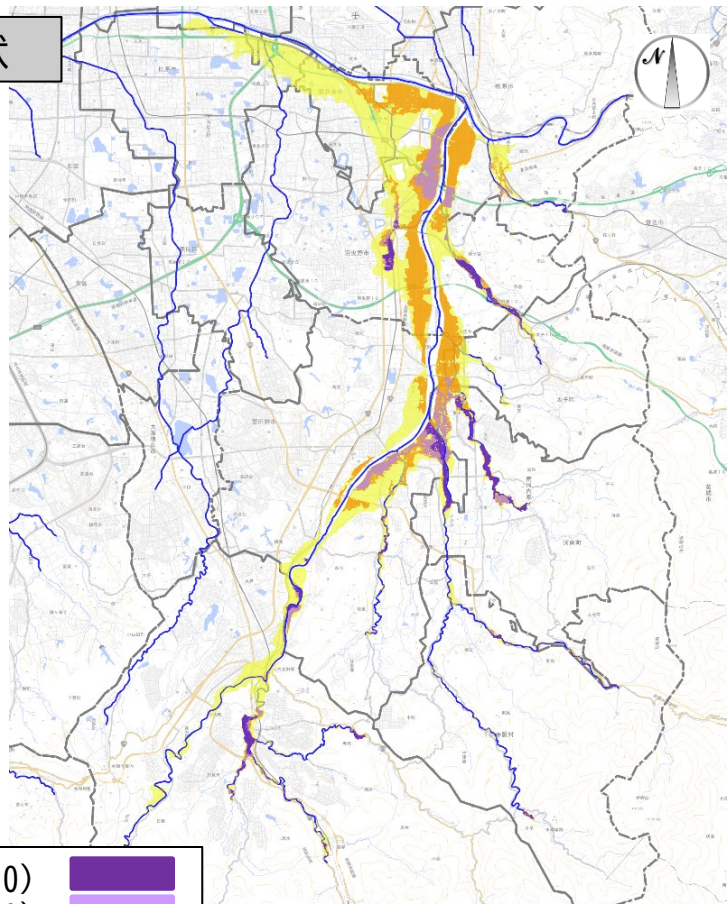
大和川水系石川ブロック 流域治水プロジェクト【事業効果の見える化】

～金剛葛城山系の麓の市街地を守る流域治水の推進～

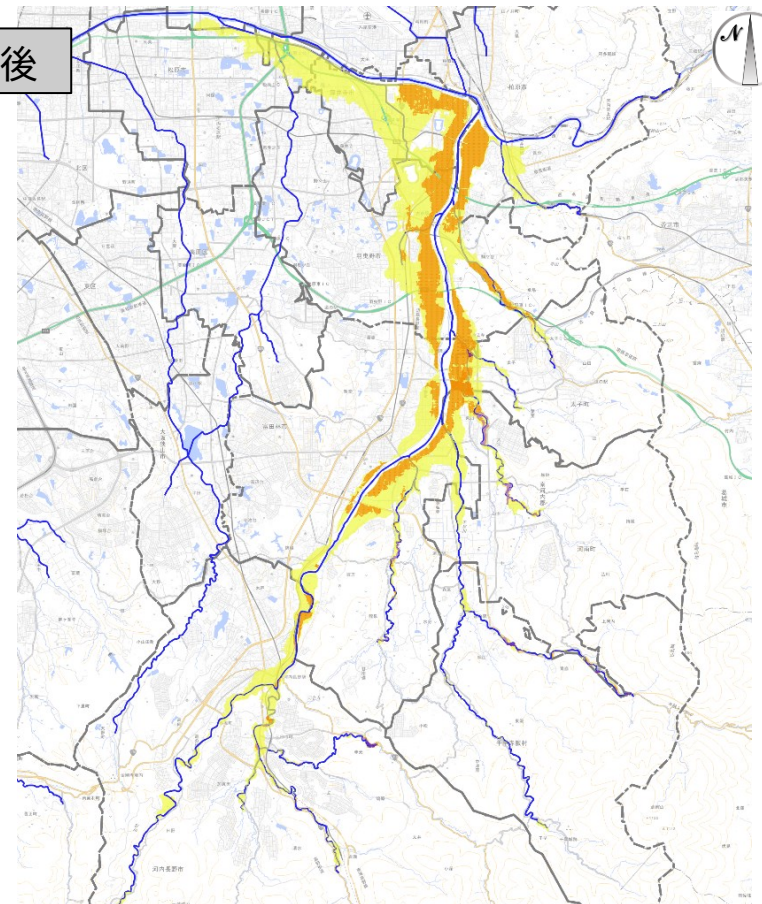
河川整備等による効果

石川、飛鳥川、石見川、大乘川、梅川、佐備川、天見川：河道改修のほか、梅川上流、佐備川上流、石見川における耐水型整備により、時間雨量65ミリ程度（1/30）の降雨に対し、家屋床上浸水を解消
千早川、宇奈田川、加賀田川、原川：河道改修のほか、加賀田川上流における耐水型整備により、時間雨量80ミリ程度（1/100）の降雨に対し、家屋床上浸水を解消

現状



整備後



高頻度（1/10）
中頻度（1/30）
低頻度（1/100）
想定最大規模



※この図は、1/10、1/30、1/100の確率年及び想定最大規模の降雨により想定される、府管理河川の外水氾濫の浸水範囲である。

※「現状」の図は、氾濫シミュレーション時点（H30）の施設整備状況において想定される浸水範囲を示したものである。

※「整備後」の図は、河川整備計画の整備メニュー実施後において想定される浸水範囲を示したものである。なお想定最大規模については、施設整備の効果を考慮していない。

大和川水系石川ブロック 流域治水プロジェクト【流域治水の具体的な取組】

～金剛葛城山系の麓の市街地を守る流域治水の推進～

当面の治水目標に対応した河川の整備



整備率：6%

(令和6年度末時点)

農地・農業用施設の活用



1市

(令和6年度末時点)

流出抑制対策の実施



既存防災調節池等
3施設

(令和6年度末時点)

山地の保水機能向上
および
土砂流木災害対策



治山対策 4箇所
土流対策2施設

(令和6年度実施)

立地適正化計画に
おける防災指針の作成



2市

(令和6年度末時点)

避難のための
ハザード情報の整備



洪水浸水
想定区域 全13河川
雨水出水
浸水想定区域 2団体

(令和6年度末時点)

高齢者等避難の
実効性の確保



避難確保
計画 洪水156施設
土砂 41施設
高潮 -

(令和7年3月末時点)

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

河道拡幅・河道掘削の取組

時間雨量50mmの降雨による床下浸水の発生と時間雨量65mm程度の降雨による床上浸水の発生を防ぐため河道改修を行っています。



梅川
整備区間は中之橋下流から大宝橋上流の0.6km区間の河道拡幅、河床掘削を行っています

大乗川

整備区間は石川合流点から近鉄長野線橋梁下流の1.9km区間で河床の切り下げを行っています



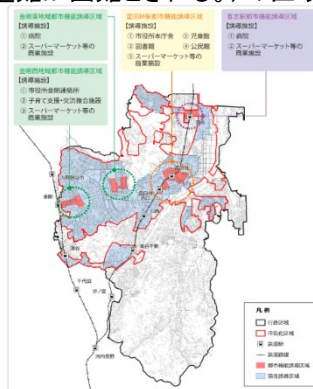
被害対象を減少させるための対策

富田林市の立地適正化計画の取組

富田林市では、災害リスクの考えられる区域は、居住誘導区域に含めないように設定している。
(災害リスクの考えられる区域)

- ・土砂災害警戒区域
- ・浸水想定区域

(想定最大規模降雨条件[概ね年超過確率1/1000年]の浸水想定が3m以上(2階以上に浸水が生じ、自宅避難が困難とされる。)の区域)等



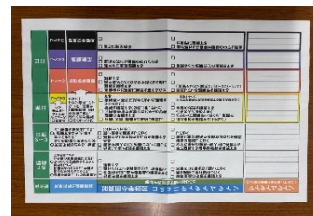
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

コミュニティタイムライン作成の取組

河内長野市では、令和6年に加賀田小学校において地域安全マップを作成するとともに、校区内の危険箇所や避難経路などの情報整理を行い、コミュニティタイムラインを作成した。



加賀田小学校区安全マップ



加賀田小学校区コミュニティタイムライン

グリーンインフラの取組み

上下流の連続性確保に向けた魚道の整備

富田林市の嶋井堰、下之井堰、上之井堰では、魚道整備が行われ、上下流の河川連続性の確保が行われている。



上之井堰魚道整備(富田林)

魅力ある水辺空間・賑わいの創出
南海河内長野駅裏の石川において親水護岸整備を行い、河川区間を活かした水辺の賑わいの創出をはかっている。



親水護岸整備(寝屋川)

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

当面の治水目標に対応した河川の整備



整備率：6%
(石川ブロック全体)
(令和6年度末時点)

農地・農業用施設の活用



流出抑制対策の実施



山地の保水機能向上
および
土砂流木災害対策



被害対象を減少させるための対策

立地適正化計画における防災指針の作成



作成済/未作成

(令和6年度末時点)

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

避難のためのハザード情報の整備



洪水浸水想定区域 13河川
(石川ブロック全体)
雨水山小浸水想定区域
作成済/未作成
(令和6年度末時点)

高齢者等避難の実効性の確保



避難確保計画
9施設/9施設
避難訓練
8施設/9施設
(令和7年3月末時点)

取組内容	7年度の具体的な目標 (どのようなレベルまで、どのような方法で、いつまで、など)	進捗状況(R7.7末) ①計画通り ②計画通りでない ③その他	進捗状況(R7.11末) ①計画通り ②計画通りでない ③その他	進捗状況(R8.3末) ①計画通り ②計画通りでない ③その他
要配慮者施設の避難確保計画策定率の向上	避難確保計画策定済の要配慮者施設について、避難訓練の実施報告は随時提出いただけるよう文書で働きかける。			

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

当面の治水目標に対応した河川の整備



整備率：6%
(石川ブロック全体)
(令和6年度末時点)

農地・農業用施設の活用



流出抑制対策の実施



山地の保水機能向上
および
土砂流木災害対策



治山対策 2箇所
土石流対策2施設
(令和6年度実施)

被害対象を減少させるための対策

立地適正化計画における防災指針の作成



作成済/未作成
(令和6年度末時点)

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

避難のためのハザード情報の整備



洪水浸水想定区域 13河川
(石川ブロック全体)
雨水出水浸水想定区域
作成済/未作成
(令和6年度末時点)

高齢者等避難の実効性の確保



避難確保計画
79施設/80施設
避難訓練
0施設/80施設
(令和7年3月末時点)

取組内容	7年度の具体的な目標 (どのようなレベルまで、どのような方法で、いつまで、など)	進捗状況(R7.7末) ①計画通り ②計画通りでない ③その他	進捗状況(R7.11末) ①計画通り ②計画通りでない ③その他	進捗状況(R8.3末) ①計画通り ②計画通りでない ③その他
コミュニティタイムラインの作成	対象地区を選定し、地元とのワーキンググループを開催して作成し、年度末に対象地区の全戸へ配布する。			

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

当面の治水目標に対応した河川の整備



整備率：97%
(西除川ブロック全体)
(令和6年度末時点)

農地・農業用施設の活用



流出抑制対策の実施



山地の保水機能向上
および
土砂流木災害対策



被害対象を減少させるための対策

立地適正化計画における防災指針の作成



作成済 **未作成**
(令和6年度末時点)

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

避難のためのハザード情報の整備



洪水浸水想定区域 7河川
(西除川ブロック全体)
雨水出水浸水想定区域
作成済 **未作成**
(令和6年度末時点)

高齢者等避難の実効性の確保



避難確保計画
53施設/55施設
避難訓練
25施設/55施設
(令和7年3月末時点)

取組内容	7年度の具体的な目標 (どのようなレベルまで、どのような方法で、いつまで、など)	進捗状況(R7.7末) ①計画通り ②計画通りでない ③その他	進捗状況(R7.11末) ①計画通り ②計画通りでない ③その他	進捗状況(R8.3末) ①計画通り ②計画通りでない ③その他
計画作成及び避難訓練実施の指導	計画作成数を100%に、訓練実施数を80%以上になるよう出水期前に対象施設へ文書を発出する。			
・立地適正化計画の策定	令和7年12月に立地適正化計画を公表予定。意見の集約・議論の場として、年3回都市計画審議会を開催予定。第1回目を5月29日に開催予定。			

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

当面の治水目標に対応した河川の整備



整備率：97%
(西除川ブロック全体)
(令和6年度末時点)

農地・農業用施設の活用



流出抑制対策の実施



山地の保水機能向上
および
土砂流木災害対策



被害対象を減少させるための対策

立地適正化計画における防災指針の作成



作成済/未作成

(令和6年度末時点)

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

避難のためのハザード情報の整備



洪水浸水想定区域 7河川
(西除川ブロック全体)
雨水出水浸水想定区域
作成済/未作成

(令和6年度末時点)

高齢者等避難の実効性の確保



避難確保計画
51施設/51施設
避難訓練
2施設/51施設

(令和7年3月末時点)

取組内容	7年度の具体的な目標 (どのようなレベルまで、どのような方法で、いつまで、など)	進捗状況(R7.7末) ①計画通り ②計画通りでない ③その他	進捗状況(R7.11末) ①計画通り ②計画通りでない ③その他	進捗状況(R8.3末) ①計画通り ②計画通りでない ③その他
要配慮者利用施設における避難確保計画の作成及び避難訓練の実施の支援	- 防災計画に記載のある施設への計画見直し等の支援 - 新規開設施設への計画作成の促進及び作成支援 - 計画作成済み施設への訓練の実施促進及び支援(周知文書送付、時期検討中)			
立地化適正計画を策定することで、居住誘導区域を設定し災害に強い市街地の形成を目指す。	立地化適正計画の令和7年12月の策定に向け、防災指針についても作成を行っているところです。			
雨水出水浸水想定区域図の作成と公表	令和6年度にシミュレーションによる検討は完了しているため、令和7年度中での公表(HPでの掲載)を目標とする。			

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

当面の治水目標に対応した河川の整備



整備率：6%
(石川ブロック全体)
(令和6年度末時点)

農地・農業用施設の活用



流出抑制対策の実施



山地の保水機能向上
および
土砂流木災害対策



被害対象を減少させるための対策

立地適正化計画における防災指針の作成



作成済 未作成
(令和6年度末時点)

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

避難のためのハザード情報の整備



洪水浸水想定区域 13河川
(石川ブロック全体)
雨水出水浸水想定区域
作成済 未作成
(令和6年度末時点)

高齢者等避難の実効性の確保



避難訓練
4施設/4施設
避難確保計画
4施設/4施設
避難訓練
4施設/4施設
(令和7年3月末時点)

取組内容	7年度の具体的な目標 (どのようなレベルまで、どのような方法で、いつまで、など)	進捗状況(R7.7末) ①計画通り ②計画通りでない ③その他	進捗状況(R7.11末) ①計画通り ②計画通りでない ③その他	進捗状況(R8.3末) ①計画通り ②計画通りでない ③その他
要配慮者利用施設における避難訓練の実施の支援	施設において避難訓練を行う場合、要請があれば職員の派遣を行う			
個別避難計画の作成促進	福祉部局と連携を取る			

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

当面の治水目標に対応した河川の整備



整備率：6%
(石川ブロック全体)
(令和6年度末時点)

農地・農業用施設の活用



流出抑制対策の実施



山地の保水機能向上
および
土砂流木災害対策



治山対策 1箇所

被害対象を減少させるための対策

立地適正化計画における防災指針の作成



作成済 **未作成**
(令和6年度末時点)

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

避難のためのハザード情報の整備



洪水浸水想定区域 13河川
(石川ブロック全体)
雨水出水浸水想定区域
作成済 **未作成**
(令和6年度末時点)

高齢者等避難の実効性の確保



避難確保計画
1施設/2施設
避難訓練
1施設/2施設
(令和7年末時点)

取組内容	7年度の具体的な目標 (どのようなレベルまで、どのような方法で、いつまで、など)	進捗状況(R7.7末) ①計画通り ②計画通りでない ③その他	進捗状況(R7.11末) ①計画通り ②計画通りでない ③その他	進捗状況(R8.3末) ①計画通り ②計画通りでない ③その他
コミュニティタイムラインの作成	今年度中に新規2地区を作成する			
要配慮者利用施設における避難確保計画の作成	今年度中に未作成の1施設へ作成を呼びかける			

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

当面の治水目標に対応した河川の整備



整備率：6%
(石川ブロック全体)
(令和7年度末時点)

農地・農業用施設の活用



流出抑制対策の実施



山地の保水機能向上
および
土砂流木災害対策



治山対策 1箇所

被害対象を減少させるための対策

立地適正化計画における防災指針の作成



作成済 未作成
(令和7年度末時点)

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

避難のためのハザード情報の整備



洪水浸水想定区域 13河川
(石川ブロック全体)
雨水出水浸水想定区域
作成済 未作成
(令和7年度末時点)

高齢者等避難の実効性の確保

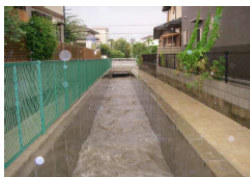


避難確保計画
0施設/0施設
避難訓練
0施設/0施設
(令和7年末時点)

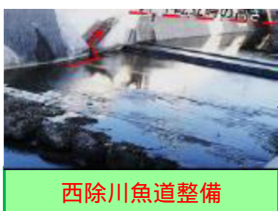
取組内容	7年度の具体的な目標 (どのようなレベルまで、どのような方法で、いつまで、など)	進捗状況(R7.7末) ①計画通り ②計画通りでない ③その他	進捗状況(R7.11末) ①計画通り ②計画通りでない ③その他	進捗状況(R8.3末) ①計画通り ②計画通りでない ③その他
洪水浸水想定区域内に所在する要配慮者利用施設の避難確保計画作成及び避難訓練実施を確実にするための準備の促進(村地域防災計画の改訂)	村の地域防災計画を改訂し、洪水浸水想定区域内に所在する要配慮者利用施設(3箇所)を明記できるよう、11月下旬を目途に「防災会議諮問案」を作成する。			
個別避難計画に基づく避難訓練を実施し、地区の自主防災組織が避難行動要支援者の避難を支援できる体制を充実	旧千早小学校区の5地区に8月中旬を目途に2～3名分の個別避難計画を作成してもらうとともに、11月の村総合防災訓練において当該計画の実効性を検証する。			
避難スイッチ(マイタイムライン)の基準となり得るコミュニティタイムライン作成の参考となる基礎資料の収集・整理	来年度予定する村タイムラインの改正(土砂災害タイムライン作成)に向け、3月中旬を目途に、平成29年21号台風に関する気象資料等を収集する。			

○ 西除川ブロックでは、当面の治水目標に従い、河道拡幅、河床掘削・堤防嵩上げ等による洪水対策を実施します。西除川放水路、三津屋川、落堀川、大水川、平尾小川では、現状で当面の目標を達成しており、西除川の狭山池ダムより下流では時間雨量80ミリ程度の降雨、西除川の狭山池ダムより上流、東除川、狭間川では時間雨量50ミリ程度の降雨による洪水を対象に整備を行います。

雨水幹線の改修（藤井寺市）



西水路雨水幹線改修



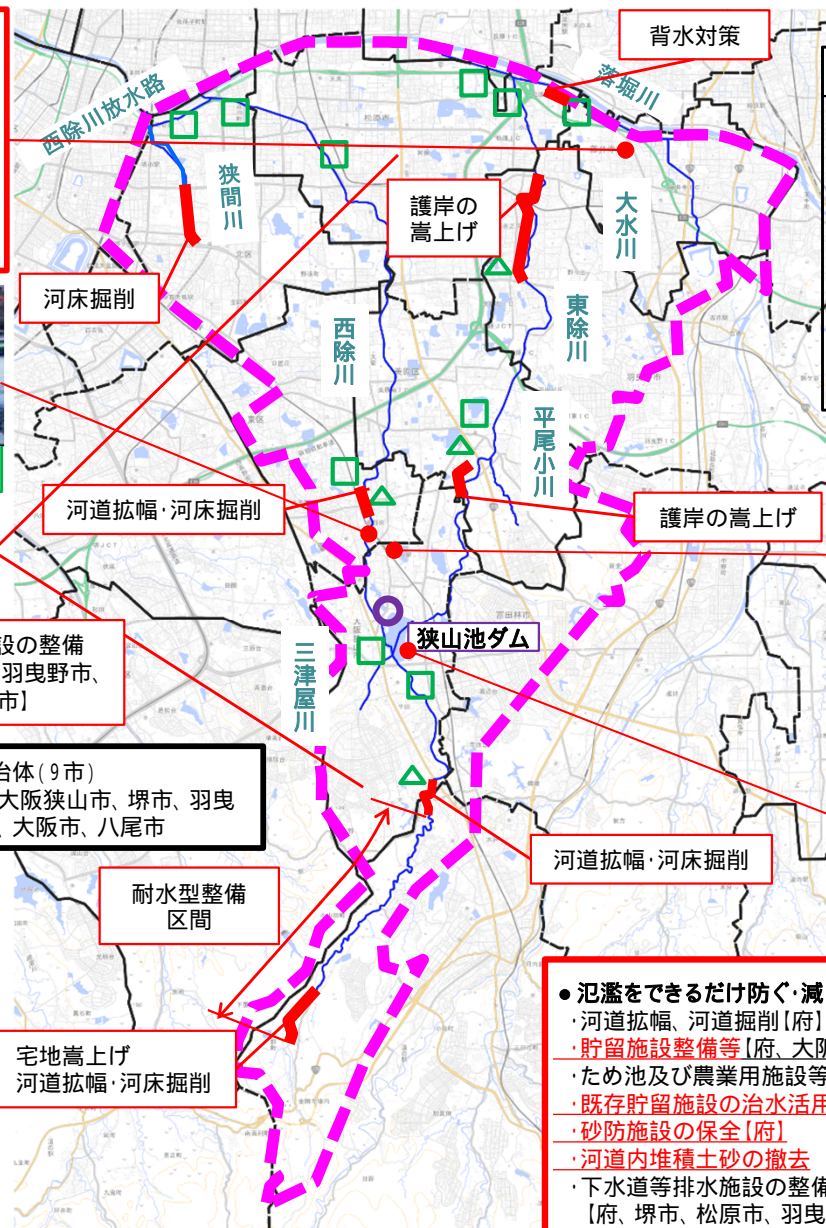
西除川魚道整備

雨水貯留浸透施設の整備等

下水道等の排水施設の整備
【府、堺市、松原市、羽曳野市、藤井寺市、富田林市】

大阪府域の流域関連自治体（9市）
河内長野市、富田林市、大阪狭山市、堺市、羽曳野市、藤井寺市、松原市、大阪市、八尾市

- 凡例
- 河道改修
 - 貯留施設（計画）
 - 貯留施設（整備済）
 - 河川カメラ
 - 水位計
 - 砂防堰堤等
 - 流域界



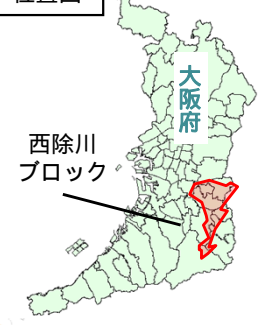
宅地嵩上げ
河道拡幅・河床掘削

耐水型整備
区間

・氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- 河道拡幅、河道掘削【府】
- 貯留施設整備等【府、大阪狭山市、松原市】
- ため池及び農業用施設等の治水活用【府・市・民間】
- 既存貯留施設の治水活用【府・市】
- 砂防施設の保全【府】
- 河道内堆積土砂の撤去
- 下水道等排水施設の整備
【府、堺市、松原市、羽曳野市、藤井寺市、富田林市】
- 治山施設・森林の整備及び保全

位置図



雨水調節池の整備（大阪狭山市）



事前放流の実施（狭山池ダム）



・被害対象を減少させるための対策

- 土砂災害特別警戒区域内の既存住宅に対する補助制度
- 立地適正化計画に基づき水害リスクの低い地域への居住誘導

・被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- 情報伝達、避難計画等に関する事項
- 洪水浸水想定区域の指定拡大【府】
- 想定最大規模の雨水出水に係る浸水想定区域図等の作成と周知【府】
- ホットラインの運用（洪水・土砂）【府・市】
- 避難情報発令の対象区域、判断基準等の確認（広域タイムライン）（洪水）【府・市・民間】
- 避難情報発令の対象区域、判断基準等の確認（市域タイムライン）（洪水・土砂）【市】
- 避難情報発令の対象区域、判断基準等の確認（コミュニティタイムライン）（洪水・土砂）【市】
- 水害危険性の周知促進【府】
- ICTを活用した洪水情報・土砂災害情報の提供【府・気象台】
- 隣接市町村における避難場所の設定（広域避難体制の構築）等【府・市】
- 要配慮者利用施設における避難確保計画の作成及び避難訓練の実施（洪水・土砂災害）【府・市】
- システムを活用した情報共有【府・市】
- 市町庁舎や災害拠点病院等の施設関係者への情報伝達の充実【府・市】
- 市町庁舎や災害拠点病院等の機能確保のための対策の充実（耐水化、非常用発電機等の整備）【市】
- 排水施設、排水資機材の運用方法の改善及び排水施設の整備等【府・市】
- 浸水被害軽減地区の指定【府・市】
- 樋門・樋管等の施設の確実な運用体制の確保【府・市】
- 施設管理の高度化の検討【府】
- 水防関係者間での連携、協力に関する検討【市】
- 平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項等
- 水害ハザードマップの改良、周知、活用（洪水・土砂）【府・市】
- 浸水実績等の周知【府・市】
- 災害リスクの現地表示【市】
- 防災教育の推進【府・市】
- 地区単位土砂災害ハザードマップの作成促進【府・市】
- 水防に関する広報の充実（水防団確保に係る取組）【府・市】
- 水防訓練の充実【府・市】

等

・グリーンインフラの取組み

- 上下流の連続性確保に向けた魚道の整備【府】

下水は市町村ごとに対象降雨が異なります。

大和川水系西除川ブロック 流域治水プロジェクト【ロードマップ】

～ 日本最古の狭山池ダム周辺を守る流域治水の推進 ～

- 西除川ブロックでは、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、府・市町が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。
 - 【短期】 市街地の水災害発生を未然に防ぐため、河道改修を実施。
 - 【中期】 河道改修の推進およびため池の治水活用の検討、老朽化護岸の更新。
 - 【中長期】 1/100確率降雨（西除川下流）1/30確率降雨（西除川上流・東除川）に対して浸水を発生させない対策とため池の治水活用を実施。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	落堀川、西除川、東除川、狭間川の河道改修・耐水型整備	大阪府、堺市	落堀川(概成) 西橋上流～中橋上流 狭間川(概成)	西除川(概成) 草沢橋～天野橋 改進黨上流～南海高野線 東除川(概成) 新高鷺橋～新伊勢橋 菅生橋～福井橋	西除川 天野橋上流～上条橋
	ため池及び農業用施設の治水活用	大阪府、河内長野市、富田林市、大阪狭山市、堺市、羽曳野市、藤井寺市、松原市、八尾市、民間	調査・検討	定期点検による継続監視の実施及び堆積状況に応じ適宜除去実施	
	河道内の堆積土砂除去	大阪府	東除川第1期(概成)	東除川第2期(概成)	
	老朽化護岸の更新	大阪府			
	雨水ポンプ場整備・管きょ整備	大阪府、堺市、松原市、羽曳野市、藤井寺市、富田林市			
被害対象を減少させるための対策	土砂災害特別警戒区域内の既存住宅に対する補助制度	大阪府、富田林市、河内長野市、羽曳野市、大阪狭山市、堺市			
	土地利用誘導(立地適正化計画)	大阪府、河内長野市、富田林市、大阪狭山市、堺市、羽曳野市、藤井寺市、松原市、八尾市			
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	情報伝達、避難計画等に関する事項 ・洪水浸水想定区域の指定拡大 ・雨水出水浸水想定区域の指定 ・市町村、地域タイムラインの策定 ・要配慮者利用施設の避難確保計画作成等	大阪府、河内長野市、富田林市、大阪狭山市、堺市、羽曳野市、藤井寺市、松原市、大阪市、八尾市、民間、気象台	洪水浸水想定区域指定 拡大完了(R6年度)		
	平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項 ・ハザードマップの改良・周知・活用 ・マイタイムラインの策定 等	大阪府、河内長野市、富田林市、大阪狭山市、堺市、羽曳野市、藤井寺市、松原市、大阪市、八尾市、民間			雨水出水浸水想定区域図 作成・公表(R7年度)
グリーンインフラの取組み	河川環境学習	大阪府外			

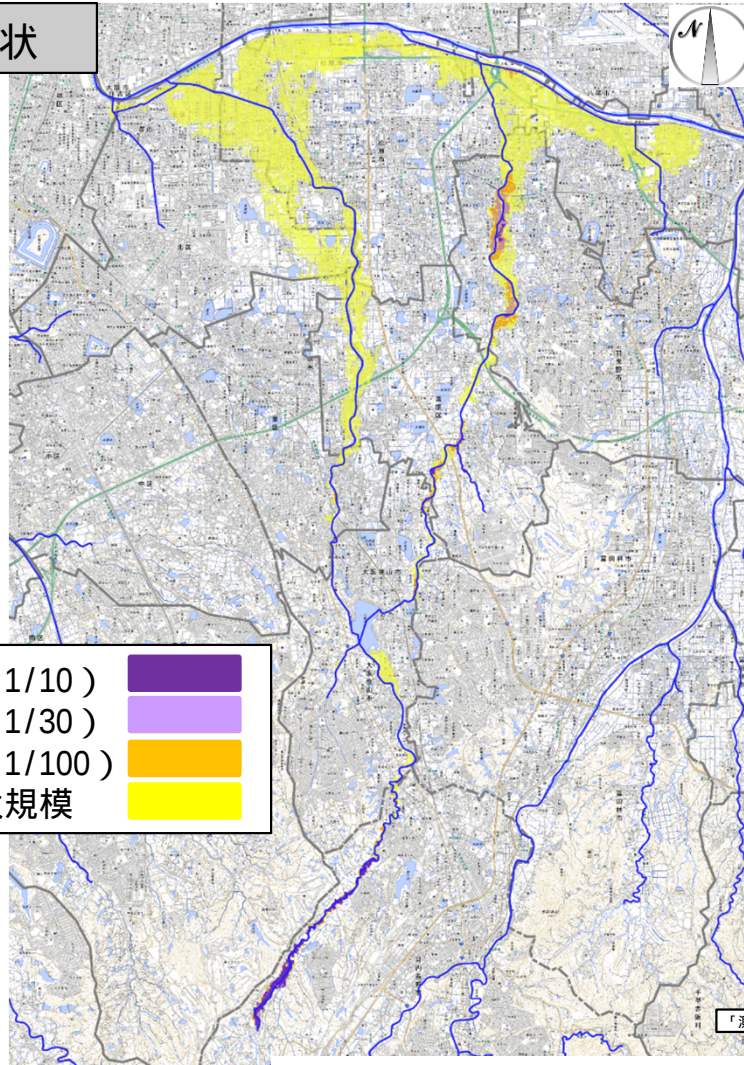
大和川水系西除川ブロック 流域治水プロジェクト【事業効果の見える化】

～ 日本最古の狭山池ダム周辺を守る流域治水の推進～

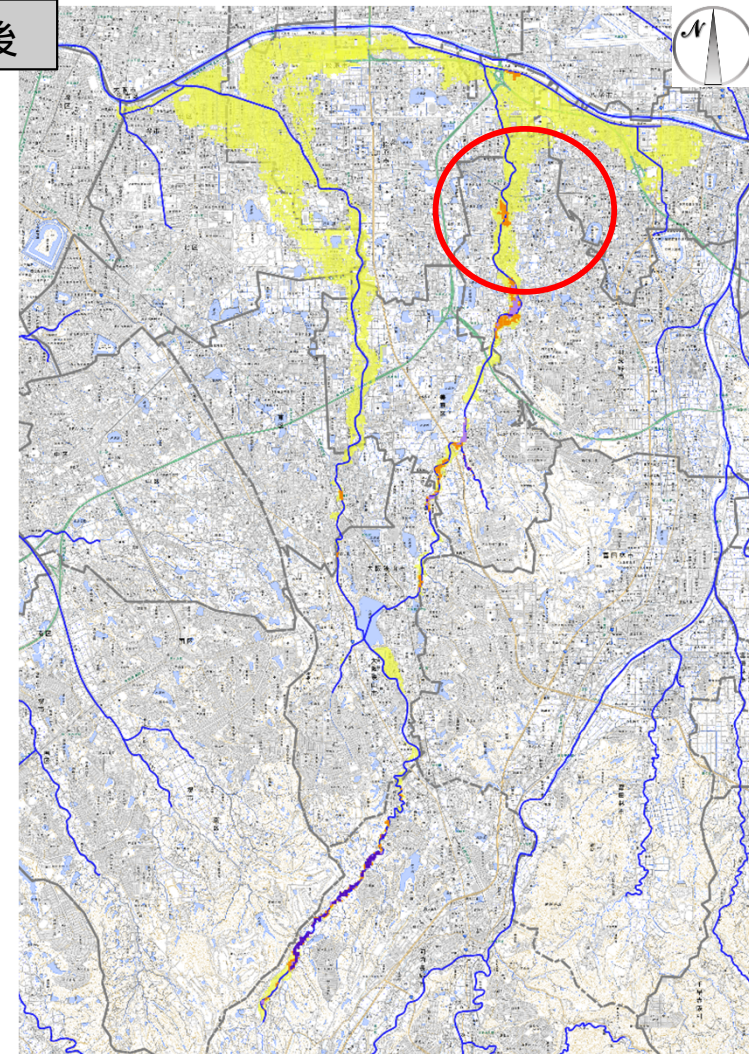
河川整備等による効果

西除川：河道改修及び耐水型整備（ダム上流）により、時間雨量80ミリ（1/100）程度の降雨に対し、家屋床上浸水を解消
東除川：河道改修により時間雨量80ミリ（1/100）程度の降雨に対し、家屋床上浸水を解消

現状



整備後



「測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 4JHs 703」

この図は、1/10、1/30、1/100の確率年及び想定最大規模の降雨により想定される、府管理河川の外水氾濫の浸水範囲である。

「現状」の図は、氾濫シミュレーション時点（H31）の施設整備状況において想定される浸水範囲を示したものである。

「整備後」の図は、河川整備計画の整備メニュー実施後において想定される浸水範囲を示したものである。なお想定最大規模については、施設整備の効果을考慮していない。

大和川水系西除川ブロック 流域治水プロジェクト【流域治水の具体的な取組】

～ 日本最古の狭山池ダム周辺を守る流域治水の推進 ～

当面の治水目標に対応
した河川の整備



整備率: 97%

(令和6年度末時点)

農地・農業用施設
の活用



流出抑制対策の実施



山地の保水機能向上
および
土砂流木災害対策



立地適正化計画に
おける防災指針の作成



2市

(令和6年度末時点)

避難のための
ハザード情報の整備



洪水浸水
想定区域 全7河川
雨水出水
浸水想定区域 1団体

(令和6年度末時点)

高齢者等避難の
実効性の確保



避難確保
計画 洪水132施設
土砂 9施設
高潮 -

(令和7年3月末時点)

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

狭山池ダムの事前放流



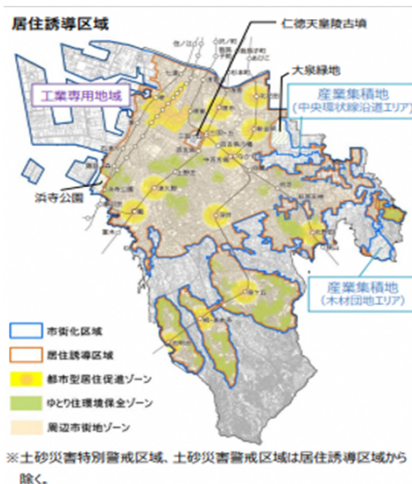
狭山池ダム
は治水容量1
00万m3の
洪水調整機
能を持っているが、事前放
流を行うこと
で46万m3
の洪水調整
機能の追加
をすることが
できる。



被害対象を減少させるための対策

堺市の立地適正化計画の取組

災害リスクのあるエリアや産業集積地が形成されているなど、居住の誘導に適していない区域については居住誘導区域に含めない。
また、現状で人口密度が低く産業系土地利用や緑地空間がまとまっているなど、土地利用の状況に応じた区域を設定している。



被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

地域防災力強化を図る取組

大阪狭山市では令和6年度に震度7の地震発生を想定し、市内の防災行政無線からの放送を通じて、市民の皆様が自宅などそれぞれの場所に参加できる市内一斉シェイクアウト訓練及びこれに連動した安否確認訓練を実施した。
また、黒山警察署との共同訓練として、非常通信訓練とパトロールカーでの地域警戒巡視を実施した。



グリーンインフラの取組み

上下流の連続性確保に向けた魚道の整備

西除川改進黨下流（堺市）において、魚道整備が行われ、上下流の河川連続性の確保が行われている。



改進黨下流魚道整備（富田林）

令和7年度南河内地域水防災連絡協議会 流域治水プロジェクト推進スケジュール 河内長野市

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

当面の治水目標に対応した河川の整備



整備率：97%
(西除川ブロック全体)
(令和6年度末時点)

農地・農業用施設
の活用



流出抑制対策の実施



山地の保水機能向上
および
土砂流木災害対策



被害対象を減少
させるための対策

立地適正化計画に
おける防災指針の作成



作成済/未作成
(令和6年度末時点)

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

避難のための
ハザード情報の整備



洪水浸水
想定区域 7河川
(西除川ブロック全体)
雨水山外浸水想定区域
作成済/未作成
(令和6年度末時点)

高齢者等避難の
実効性の確保



避難確保計画
8施設/8施設
避難訓練
0施設/8施設
(令和7年3月末時点)

取組内容	7年度の具体的な目標 (どのようなレベルまで、どのよう な方法で、いつまで、など)	進捗状況(R7.7末) 計画通り 計画通りでない その他	進捗状況(R7.11末) 計画通り 計画通りでない その他	進捗状況(R8.3末) 計画通り 計画通りでない その他
コミュニティタイムラインの作成	対象地区を選定し、地元との ワーキンググループを開催して 作成し、年度末に対象地区の 全戸へ配布する。			

令和7年度 南河内地域水防災連絡協議会 流域治水プロジェクト推進スケジュール 松原市

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

当面の治水目標に対応した河川の整備



整備率：97%
(西除川ブロック全体)
(令和6年度末時点)

農地・農業用施設の活用



流出抑制対策の実施



山地の保水機能向上
および
土砂流木災害対策



被害対象を減少させるための対策

立地適正化計画における防災指針の作成



作成済 / 未作成
(令和6年度末時点)

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

避難のためのハザード情報の整備



洪水浸水想定区域 7河川
(令和7年度末時点)
雨水出水浸水想定区域
作成済 / 未作成
(令和6年度末時点)

高齢者等避難の実効性の確保



避難確保計画
104施設/104施設
避難訓練
78施設/104施設
(令和7年3月末時点)

取組内容	7年度の具体的な目標 (どのようなレベルまで、どのような方法で、いつまで、など)	進捗状況(R7.7末) 計画通り 計画通りでない その他	進捗状況(R7.11末) 計画通り 計画通りでない その他	進捗状況(R8.3末) 計画通り 計画通りでない その他
要配慮者利用施設の避難訓練実施率の向上	避難訓練実施率を80パーセントまで向上させるため、市内の対象施設に対して訓練実施通知や電話などを行い、訓練実施を促す。			
立地適正化計画	令和7年度中に検討していく。			

令和7年度 南河内地域水防災連絡協議会 流域治水プロジェクト推進スケジュール 羽曳野市

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

当面の治水目標に対応した河川の整備



整備率：97%
(西除川ブロック全体)
(令和6年度末時点)

農地・農業用施設の活用



流出抑制対策の実施



山地の保水機能向上
および
土砂流木災害対策



被害対象を減少させるための対策

立地適正化計画における防災指針の作成



作成済 / 未作成
(令和6年度末時点)

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

避難のためのハザード情報の整備



洪水浸水想定区域 7河川
(西除川ブロック全体)
雨水出水浸水想定区域
作成済 / 未作成
(令和6年度末時点)

高齢者等避難の実効性の確保



避難確保計画
20施設 / 22施設
避難訓練
11施設 / 22施設
(令和7年3月末時点)

取組内容	7年度の具体的な目標 (どのようなレベルまで、どのような方法で、いつまで、など)	進捗状況(R7.7末) 計画通り 計画通りでない その他	進捗状況(R7.11末) 計画通り 計画通りでない その他	進捗状況(R8.3末) 計画通り 計画通りでない その他
計画作成及び避難訓練実施の指導	計画作成数を100%に、訓練実施数を80%以上になるよう出水期前に対象施設へ文書を発出する。			
・立地適正化計画の策定	令和7年12月に立地適正化計画を公表予定。意見の集約・議論の場として、年3回都市計画審議会を開催予定。第1回目を5月29日に開催予定。			

令和7年度 南河内地域水防災連絡協議会 流域治水プロジェクト推進スケジュール 大阪狭山市

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

当面の治水目標に対応した河川の整備



整備率：97%
(西除川ブロック全体)
(令和6年度末時点)

農地・農業用施設の活用



流出抑制対策の実施



山地の保水機能向上
および
土砂流木災害対策



被害対象を減少させるための対策

立地適正化計画における防災指針の作成



作成済/未作成
(令和6年度末時点)

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

避難のためのハザード情報の整備



洪水浸水想定区域 7河川
(西除川ブロック全体)
雨水出水浸水想定区域
作成済/未作成
(令和6年度末時点)

高齢者等避難の実効性の確保



避難確保計画
9施設/9施設
避難訓練
6施設/9施設
(令和7年3月末時点)

取組内容	7年度の具体的な目標 (どのようなレベルまで、どのような方法で、いつまで、など)	進捗状況(R7.7末) 計画通り 計画通りでない その他	進捗状況(R7.11末) 計画通り 計画通りでない その他	進捗状況(R8.3末) 計画通り 計画通りでない その他
要配慮者利用施設の避難訓練を促進	施設管理者に定期的に周知することで、市内の要配慮者利用施設の訓練実施率を100%を目標とする。			
戸建住宅等に雨水浸透枡の設置を指導	開発業者へ指導を行うことで、雨水浸透枡の設置率100%を目標とする。			

取組内容

避難所運営に関する演習、個別避難計画策定を見据えた要配慮者の避難訓練 キッチンカーによる食事配給訓練

○実施概要

【日 時】 令和6年12月8日（日）9：30～12：00

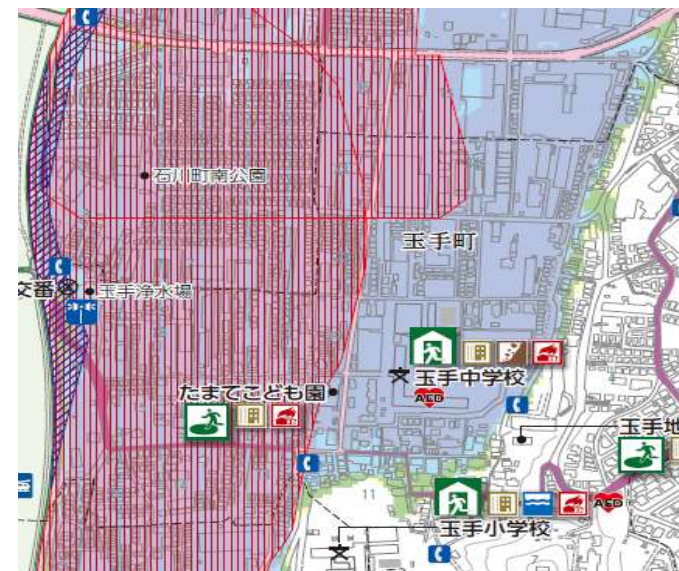
【場 所】 玉手中学校体育館

【参加者】 区長、自主防災組織、その他住民 約350名

【災害リスク】 大和川、石川による洪水

【主な訓練の流れ】

- ①防災無線を活用し、地域住民に訓練開始を周知。福祉部局と連携し、事前に把握していた要配慮者の避難誘導を地域主導で実施。
- ②柏原市薬剤師会による避難所における急病者への処置、感染対策に関する講演実施。避難所運営における衛生面の課題を確認。
- ③キッチンカーによる食事配給訓練により、地域住民と民間企業の連携による地域防災力の向上を図った。



避難所運営訓練

※要配慮者が参加しやすい形式で実施



柏原市薬剤師会による講演会



キッチンカーによる食事配給訓練